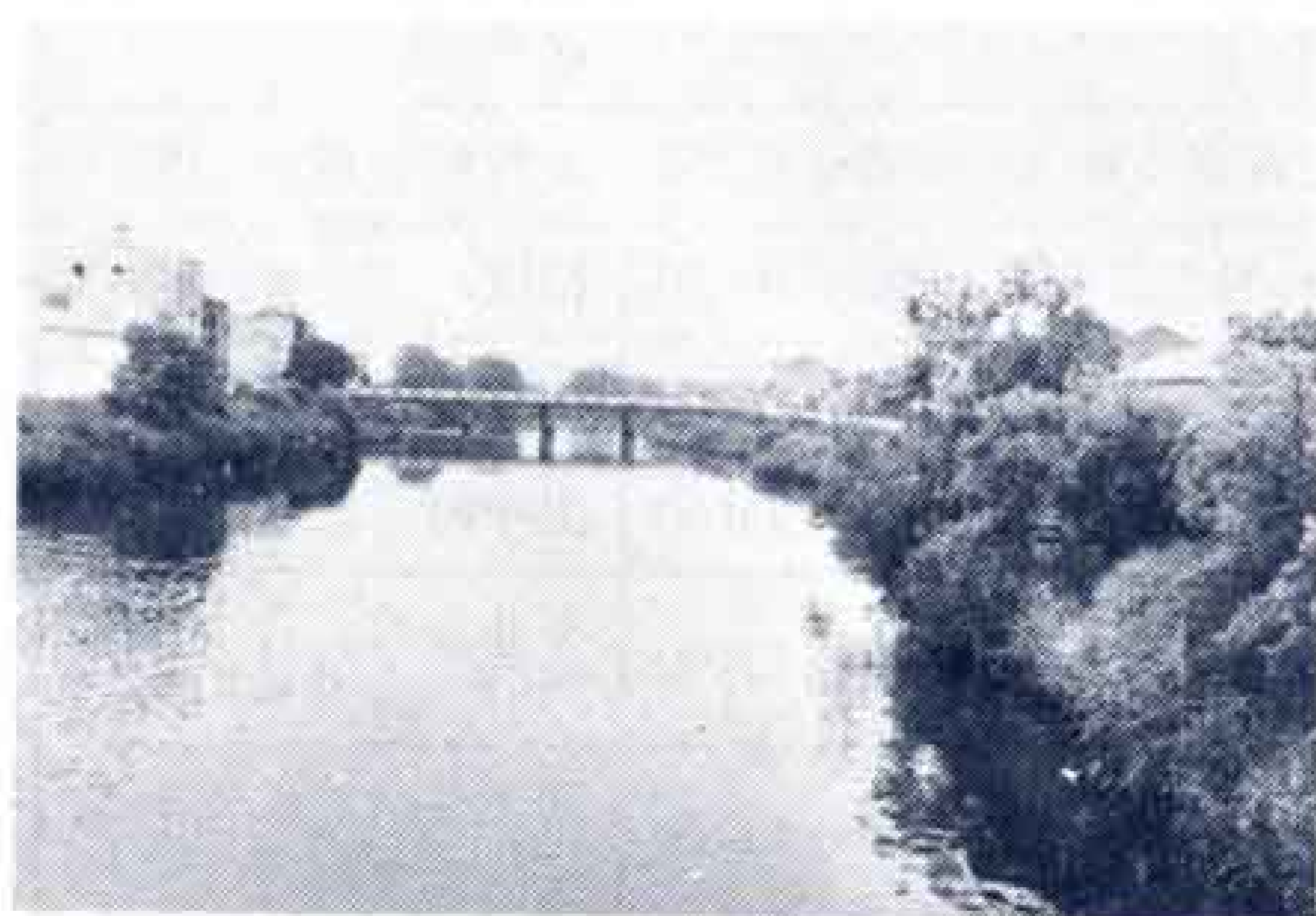


ふるさとのお話



沼川の河童

河童は水の神として、古くから日本各地で祀られ、親しまれてきた架空の動物です。しかし、もしかしたらほんとうにいたのかも知れませんヨ……………。



現在の沼川

この欄で昔話を語ってくれるお年寄りを探しています。あの人を知っていそうだという情報でも可。

ご連絡ください。市広報広聴課 ☎51-0123(内線528)

ずっと昔、どこにも河童がいた頃の話なんだがな……………。

その頃の沼川は、河童にとってことのほか住みごちが良かったとみえて、何でも全部で49匹も住んでおったそうだ。特に滝川が沼川に合流するあたりは、深い淵で渦巻くほどの水量があつたし、堤にはヤブが繁っておって、昼でも暗く近寄る人もなかった。ま、そんなわけで河童はゆうゆうと住んでおったということだ。

ところで、人間にもいろんな性格を持った人がいるように、河童の中にもおとなしいヤツもあれば、そり

やもう、いたずら好きなのもいたもんだ。ある時なんぞ、よりによって大名が道中してる時の馬の尻尾にからんで、水底に引入れようとしたから、さあ大変だあな。馬は驚いて街道へ駆け出した。河童は馬の尻尾をつかんだままブラ下つておったから、街道の人間にたちまち捕えられてしまった。寄つてたかつてぶたれた上、うまやの柱に一晩中しばり付けられ、次の朝になってやつと放されたそうだ。

それ以来、河童は人間の前に姿を見せなくなったということだ。

やれやれ……………。



わが国は、紙の原料としてパルプ材の40%以上を輸入にたよっています。

故紙を回収し再利用することは

1. 紙の原料対策として役立つ
2. 森林資源の保護がはかれる
3. ごみの減量になる
4. 木材から紙をつくるのにくらべ、重油、電力や水の節約ができる。

故紙の再生利用は、まさに“一石四鳥”です。

一進めよう ごみの減量・資源化—

市立博物館 展示物 紹介

じつ そう じ
実 相 寺



実相寺は、久安元年(1145年)に鳥羽上皇の命をうけた智印上人が創建しました。

のちに日蓮宗となりましたが、市内で最も古い天台宗の寺で、寺域は四キロ四方あったそうです。

鎌倉時代には日蓮上人が、この寺にある大蔵経を閲読して、有名な立正安国論の草稿を練ったと伝えられています。

日蓮と立正安国論

日蓮が実相寺に来たとされる正嘉・文応(1257年~1260年)の頃は鎌倉を中心に災害や疫病が多発し、人々が苦しんでいました。

日蓮は、その原因を探るため、実相寺を訪ね、大蔵経(一切経)を調べ、その結果「立正安国論」を述作したと伝えられています。

この巻物は、日蓮の直筆原本と寸分変わらない複製版です。

